

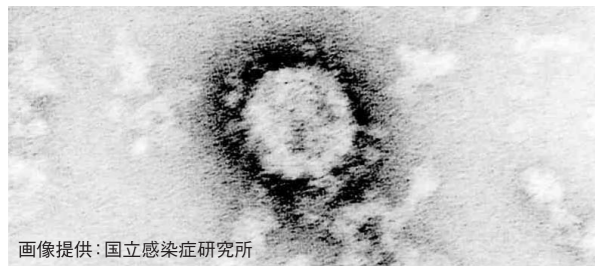
肝臓をちゃんと調べて、肝炎ウイルスをたたきましよう。

まず、精密検査で肝臓の現在の状態を調べましよう。



■ ウイルス量検査(検査時間:約10分)
血液中の肝炎ウイルス量や型を調べます。

■ 超音波検査(検査時間:約20分)
超音波で肝臓の状態を調べます。



画像提供:国立感染症研究所



精密検査について気になることは香川県の肝臓相談窓口にお電話を。

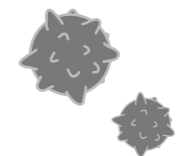
087-811-3333

月曜～金曜(祝日除く)8時30分～17時
香川県立中央病院

087-891-2468

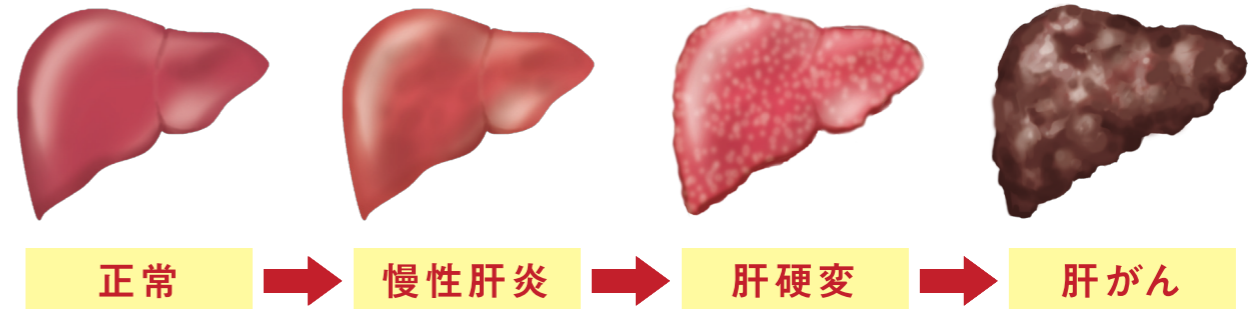
月曜～金曜(休日は除く)8時30分～17時15分
香川大学医学部附属病院

肝炎ウイルスは、肝炎、肝硬変、肝がんの原因です。



肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強く、肝炎が進行していても、自覚症状がないことも珍しくありません。

肝炎ウイルスから発症する病気



場合によっては、肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

普段の生活をしながら、飲み薬で肝炎ウイルスをたたく方法もあります。

肝炎の薬は急速に進歩し、近年飲み薬だけで肝炎ウイルスを治療することもできるようになりました。入院の必要もないため、仕事を休むこともなく治療できます。

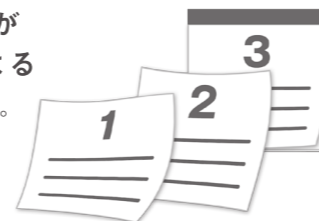


※ 病状によっては入院して治療を受けることがあります。

3ヵ月だけ飲む薬もできました。*

服用期間が3ヵ月の薬もあります。*
服用中は禁酒すること以外生活を変える必要はなく、身体への負担もわずかです。

※ 病状によって、服用期間が6ヵ月の場合や注射による治療の場合もあります。



今なら、治療に助成制度が利用できます。

治療費用

助成制度を利用すれば、治療費のほとんどをまかなえます。

〔自己負担額:10,000円または20,000円* × 治療期間(月)〕
〔*世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります〕
治療費助成を受けるためには、医師の診断書が必要です。まずは精密検査を受けましよう。

